

化学物質の削減と管理

PRTR法※対象物質の使用量が多い薬剤から対象物質を全く含有しない物質への切り替えをほぼ終了し、さらに少量使用している物質においても、試験を進めて切り替えていきます。

※ PRTR法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

化学物質の削減と管理

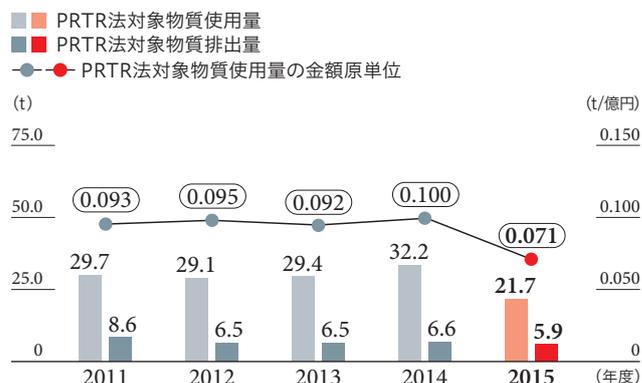
PRTR法対象物質を含有する化学物質の中で、比較的使用量が多いものから優先的に、PRTR法対象物質を全く含有しないものに切り替えを実施してきました。

今後も、PRTR法対象物質を含有する化学物質に対して、対象物質を全く含有しないものへの切り替えに向けた研究などの改善を進めていきます。



化学物質流出時の対応訓練

PRTR法対象物質の使用量・排出量と使用量原単位



注) PRTR法の届け出については、事業者は個別事業所ごとに化学物質の排出量・移動量を把握し、繊維産業においては都道府県経由で経済産業省に届けています。その集計期間は4月から翌年3月までと定められており、上記グラフの年度も、この集計期間に準じているためニッケの報告期間とは異なります。

PCB 使用廃電気機器の適正管理

ニッケグループでは、国の全額出資によって設立された特殊会社「中間貯蔵・環境安全事業株式会社」にPCB使用廃電気機器を処理登録しており、現在、処理順番を待っている状況です。処理が実施されるまでは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、適正に保管しています。

また、数mg/kg～数十mg/kgのPCBが混入した微量PCB汚染廃電気機器の問題については、製造年などから混入の可能性のある機器を特定し、絶縁油のPCB分析により汚染の有無を確認する作業が完了しました。今後汚染が確認された機器は計画的に更新し、微量PCB汚染廃電気機器として適正に保管・処分します。



微量PCB汚染廃電気機器保管状況

ダイオキシン類

ニッケグループでは、ダイオキシン類対策特別措置法で定められた特定施設は設置していません。

大気や水などの汚染防止

大気汚染や水質汚濁などの公害対策については、特に周辺住民の方に迷惑をかけないように、確実に公害防止設備の定期保全を実施し、排ガスや排水水質の定期分析および管理を継続しています。

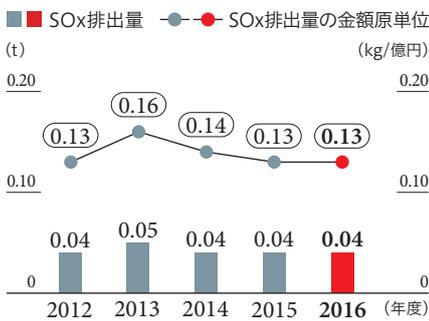
大気汚染物質の削減

ニッケグループから排出されるSOx・NOx・ばいじんはボイラの排ガスに含まれるもので、特にSOxの排出はボイラ燃料に起因します。ニッケ印南工場、岐阜工場、アンビック(株)、(株)ゴーセンは、天然ガスなどを燃料とするボイラを使用しており、

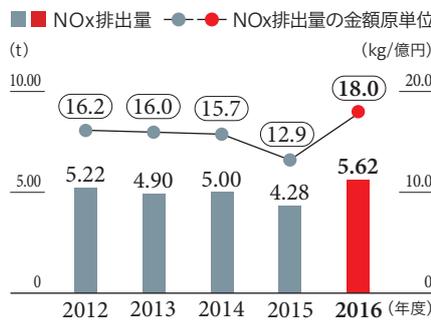
SOx排出量をゼロにしています。

またNOx・ばいじんは「大気汚染防止法」や関係法規環境保全協定に基づく排出基準を十分に下まわるよう管理しています。

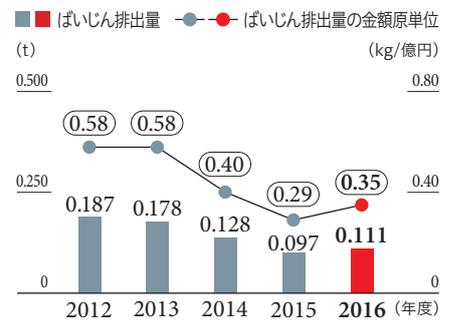
SOx 排出量と原単位



NOx 排出量と原単位



ばいじん排出量と原単位

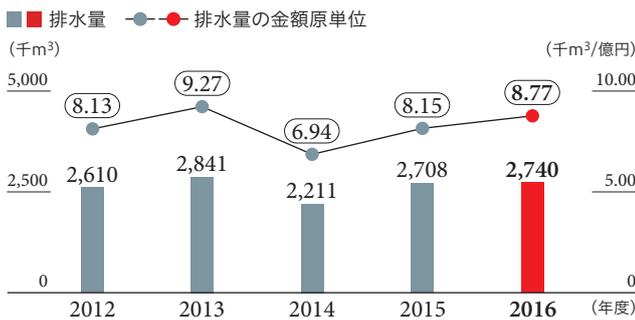


排水の管理

工場排水に含まれるCOD負荷・BOD負荷・SS負荷は、自社の排水処理装置または公共の下水処理場でこれら負荷量を減少させた上で、河川などの公共水域に放流しています。

各工場では定期保全の確実な実施に加え、日常的な管理運用、上乘せ排水基準の設定、排水水質の定期分析などを通じて、「水質汚濁防止法」や関係法規、環境保全協定に基づく排出基準を下まわるように管理しています。

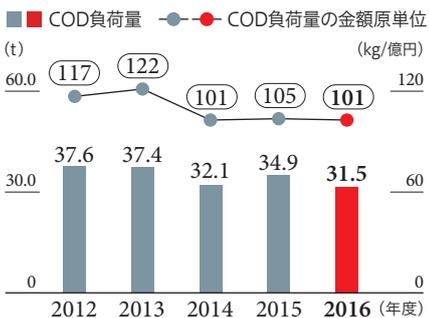
排水量と原単位



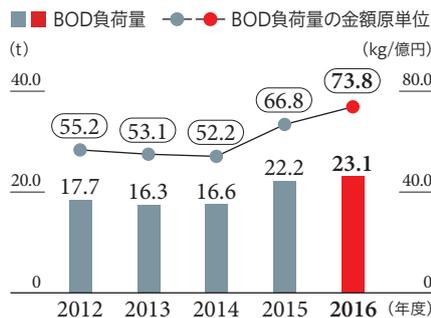
排水の排出先別内訳 (2016年度)



COD 負荷量と原単位



BOD 負荷量と原単位



SS 負荷量と原単位

